

様式第一号

法人名 社会医療法人北楡会
 所在地 札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号

※医療法人整理番号	1	2	1	9
-----------	---	---	---	---

貸借対照表
 (令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	2,436,769	I 流動負債	1,495,029
現金及び預金	226,486	買掛金	820,306
事業未収金	2,012,189	短期借入金	158,616
たな卸資産	152,942	未払金	189,194
前払費用	33,641	未払費用	9,717
その他の流動資産	11,507	預り金	117,195
II 固定資産	4,586,323	賞与引当金	200,000
1 有形固定資産	4,551,431	II 固定負債	2,202,945
建物	2,238,944	長期借入金	966,160
構築物	2,172	退職給付引当金	1,236,785
医療用器械備品	360,809	負債合計	3,697,974
その他の器械備品	32,546	純資産の部	
車両	0	科目	金額
土地	1,916,959	I 積立金	3,325,848
2 無形固定資産	30,130	設立等積立金	58,452
ソフトウェア	30,130	繰越利益積立金	3,267,396
3 その他の資産	4,761	II 評価・換算差額等	△ 730
有価証券	2,129	その他有価証券評価差額金	△ 730
その他の固定資産	2,632	純資産合計	3,325,118
資産合計	7,023,092	負債・純資産合計	7,023,092

様式第二号

法人名 社会医療法人北楡会

※医療法人整理番号	1	2	1	9
-----------	---	---	---	---

所在地 札幌市白石区東札幌6条6丁目5番1号

損 益 計 算 書
(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		11,812,908
2 事業費用		
(1)事業費	11,542,505	11,542,505
本来業務事業利益		270,402
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		17,924
2 事業費用		1,545
附帯業務事業利益		16,378
事業利益		286,781
II 事業外収益		
受取利息	87	
売店収益	31,641	
患者外給食収益	19,825	
テレビ利用料収益	16,924	
駐車場収益	12,564	
その他の事業外収益	34,054	115,098
III 事業外費用		
支払利息	7,998	
患者外給食材料費	24,219	
駐車場経費	16,756	
その他の事業外費用	13,175	62,149
経常利益		339,729
税引前当期純利益		339,729
当期純利益		339,729

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

その他有価証券で市場価値のあるものについては、期末日の市場価格等に基づく時価法によっております。(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

(2) たな卸資産

最終仕入原価法によっております。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は、定額法によっております。

なお、主たる有形固定資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物	4年～39年
構築物	4年～35年
医療用器械備品	4年～15年
その他の器械備品	2年～20年
車両	2年～6年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

自己利用のソフトウェアについては、見込利用可能期間(5年以内)に基づく定額法によっております。

3 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

役職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務に基づき当会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、当社会医療法人は前々会計年度末日の負債総額が 200 億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

4 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

(1) 補助金の会計処理方法

新人看護職員臨床実践能力向上研修の目的で受け取った補助金については、受け取った会計年度に一括して収益に計上しております。

(2) ファイナンス・リース取引の会計処理方法

リース取引開始日が、前々会計年度末日の負債総額が 200 億円未満である会計年度の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、賃貸借処理によっております。

6 担保に供されている資産に関する事項

(単位：千円)

担保に供されている資産			担保に係る債務	
種類	期末帳簿価額	担保権の種類	内容	期末残高
事業未収金	1,829,056	譲渡担保	長期借入金	1,124,776
建物	2,238,944	根抵当権		
土地	1,916,959	根抵当権		

(注) 債務については、一年以内に返済期限の到来する長期借入金についても長期借入金に含めております。

7 法第 51 条第 1 項に規定する関係事業者に関する事項

該当事項はありません。

8 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 減価償却累計額

有形固定資産の貸借対照表計上額は、取得価額から減価償却累計額を控除した価額を記載しており、資産の種類ごとの減価償却累計額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

建物	4,236,067
構築物	49,316
医療用器械備品	1,444,250
その他の器械備品	415,823
車両	18,091
その他の有形固定資産	22,511

(2) 賃貸借処理をしたファイナンス・リース取引

資産の種類ごとのリース料総額及び未経過リース料の当期末残高は以下のとおりであります。

(単位：千円)

資産の種類	リース料総額	未経過リース料 当期末残高
建物	6,728	1,973
医療用器械備品	134,383	8,386
その他の器械備品	17,876	4,553

(3) 基本財産

基本財産の増減とその残高は以下のとおりであります。

(単位：千円)

科目	前会計年度末 残高	当会計年度 増加額	当会計年度 減少額	当会計年度末 残高
現金及び預金	25,000	—	—	25,000